

チミジン

チミジン ちみじん

化合物名であって、分子式は $C_{10}H_{14}O_5N_2$ 、構造式は、3-β-D-デオキシリボフラノシルチミンにあたる。ピリミジンヌクレオシドの一つである。デオキシリボ核酸（DNA）の成分として含まれる。融点は186℃。水に良く溶け、吸収極大波長は267nm。チミジンのリン酸エステルをチミジル酸と称し、アデノシン三リン酸（ATP）からリン酸を受取り、チミジン二リン酸（TDP）となる。TDP-糖化合物はバクテリア中にみられ、糖の異性体（エピマー）の相互変化に重要な役割を果たしている。

<登録年月>

1998年02月
